



広報ボランティアのページ

●担当ボランティア／日置雅夫・岩下茂子

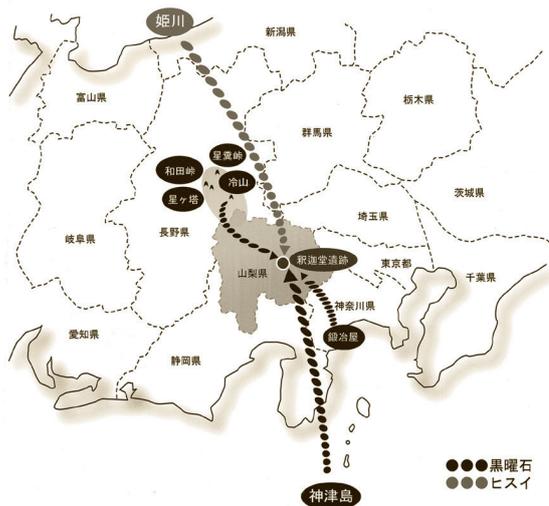
縄文時代の物流（土器、ヒスイ、黒曜石）

山梨にある縄文中期（5,500年前～4,500年前）の遺跡

1980年2月に、山梨県の甲府盆地の東部にある釈迦堂遺跡が発掘調査されました。その結果、旧石器時代、縄文時代、古墳時代、奈良時代、平安時代の遺構、多量の土器、石器などの遺物が発見されました。特に、縄文時代の遺構・遺物は豊富でした。

縄文土器については、大阪、愛知、長野、関東、東北で出土した土器と同様のものが見ついています。また、ヒスイは新潟県の姫川（糸魚川市）から運ばれ、黒曜石は長野県の和田峠や星ヶ塔、伊豆諸島の神津島から運ばれています。また、千葉市にある賀曽利貝塚もヒスイが糸魚川から、黒曜石が神津島から運ばれています。

縄文時代は、東北から関東、山梨、長野にかけて大いに繁栄し、物流や人の交流があったようです。戦争もない平和な時代だったと考えられています。（日置）



縄文時代のヒスイ・黒曜石の流通
釈迦堂遺跡博物館の展示案内（2020.4）より

能登半島地震の発生を受けて ボランティア活動について考える(その1)

はじめに、この度の令和6年能登半島地震により被災された皆さま、ならびにそのご家族の皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

1月1日という特別な日に前触れなく発生した今回の地震に、天災が我々の都合とは関係なしに襲い掛かってくるという現実をまざまざと見せつけられました。我々の仕事仲間も何人が旅行中に現地で被災した方がいまして、一気に現実的で身近に感じる出来事となりました。

今回は振り返りの機会として、災害ボランティアとして我々にもできることについて簡単ではありますがお伝えしたいと思います。

そもそも災害ボランティアとは？

災害ボランティアが大きく注目されるようになったのは阪神淡路大震災の頃からと思います。

当時はまだまだ、何をどのように活動を進めて行けば良いかは手探り状態のため、いろんな問題も発生しました。また、災害ボランティアの意識も育っておらず、ボランティアを行う人自身も自分の事は自分で行う、という現在では当たり前の意識もなく、何で現地まで歩いていかないといけないのか？ボランティアの食料がなぜ準備してないのか？等、ボランティアをする側と受け入れる側とでトラブルも多かったと聞いています。

この問題を受けて、その後、自治体等でいろいろな講習会を開いたりすることで、災害時のボランティア活動について学ぶ機会を提供することが始まりました。（岩下）

※次号へつづく